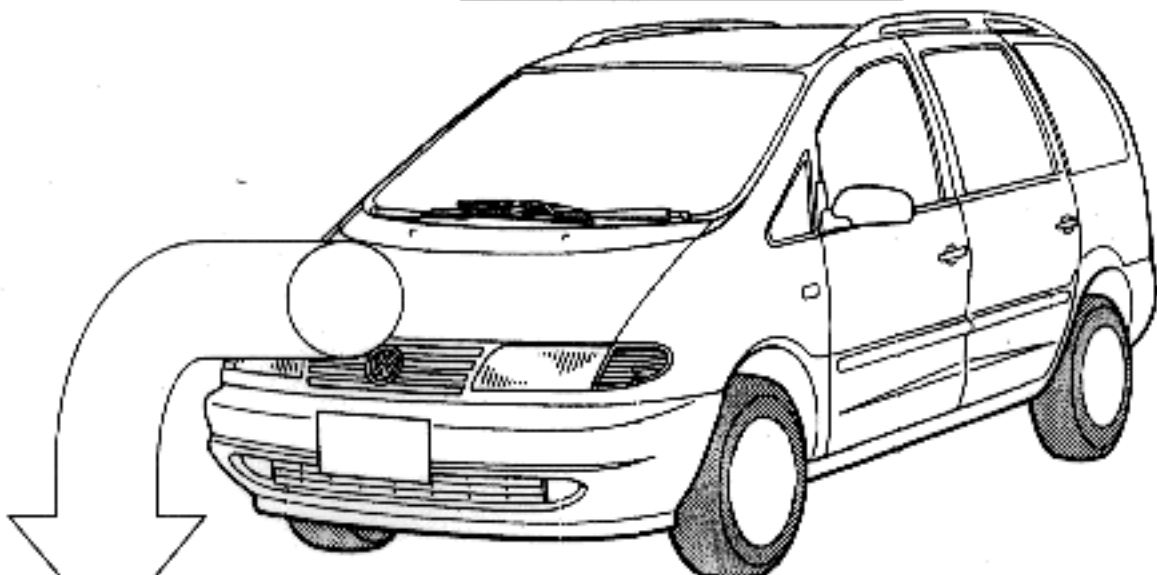


改善箇所説明図

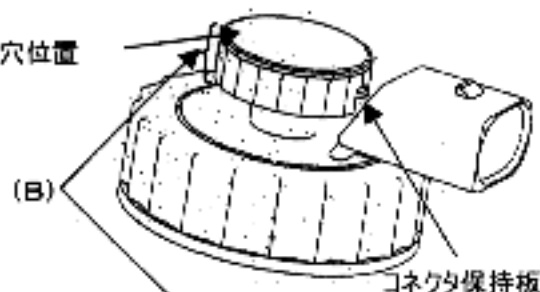


リザーバー・キャップ

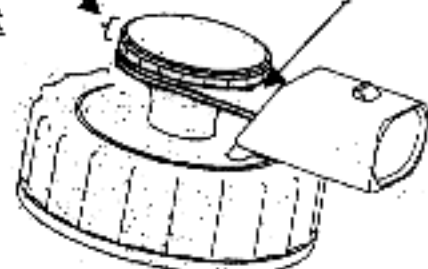
対策品形状

- ・(B)部が厚く、水分が付着しにくい
- ・コネクタ保持板で空気抜き穴位置が規定される

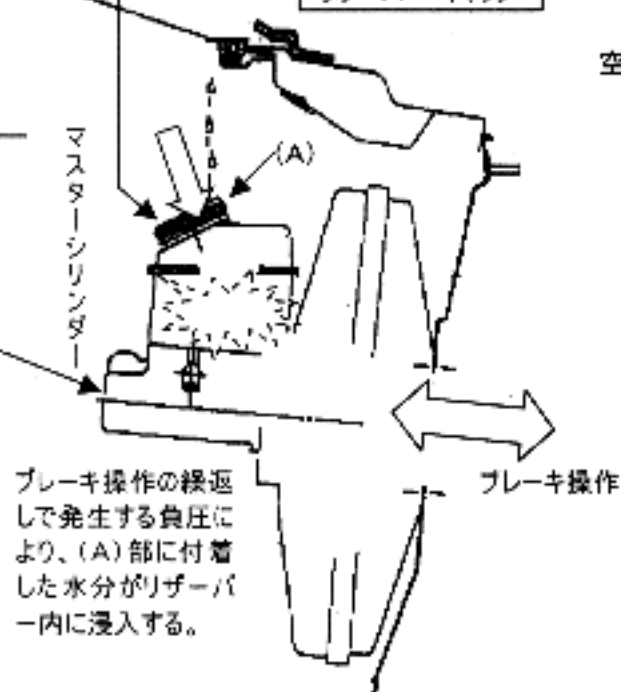
空気抜き穴位置



不具合品形状



- ・(B)部が薄く、水分が付着しやすい
- ・コネクタ保持板が水平で空気抜き穴位置が規定されない



不具合状態にあると認める構造、措置又は性能の状況及びその原因

ブレーキマスターシリンダーのリザーバーキャップの構造が不適切なことから、ブレーキペダル操作の繰返しによりブレーキ液面が低下してリザーバー内に負圧が発生した場合、当該キャップの空気抜き穴から水分がリザーバー内に浸入し、長時間この状況を繰返すと、最悪の場合、ブレーキペダルの操作感がやわらかくなったり、踏みしろが長くなることもある。

改善対策の内容

全車同、当該リザーバーキャップを対策品と交換するとともに、ブレーキ液を新品と抜き換える。

作業終了の識別

運転席ドアのチェックストラップ上部に白色又は黄色の識別マークを塗布する。

 は交換部品。